



## 平成27年6月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年5月11日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 フジコー

コード番号 2405 URL <http://www.fujikoh-net.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 小林 直人

問合せ先責任者 (役職名) 経営企画室長

(氏名) 清水 周二

TEL 03-3841-5431

四半期報告書提出予定日 平成27年5月11日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成27年6月期第3四半期の連結業績(平成26年7月1日～平成27年3月31日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年6月期第3四半期	1,915	2.7	276	9.2	228	13.3	122	2.1
26年6月期第3四半期	1,864	—	252	—	201	—	120	—

(注) 包括利益 27年6月期第3四半期 116百万円 (△2.8%) 26年6月期第3四半期 120百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年6月期第3四半期	32.37	32.20
26年6月期第3四半期	36.98	36.71

(注) 平成26年6月期第3四半期より四半期連結財務諸表を作成しているため、平成26年6月期第3四半期の対前年同四半期増減率については記載しておりません。

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
27年6月期第3四半期	4,845	1,892	34.9	445.77
26年6月期	3,510	1,628	46.2	427.38

(参考) 自己資本 27年6月期第3四半期 1,690百万円 26年6月期 1,620百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年6月期	—	0.00	—	9.00	9.00
27年6月期	—	5.00	—	—	—
27年6月期(予想)	—	—	—	4.00	9.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

(注) 平成26年6月期の期末配当金9円00銭の内訳は普通配当7円00銭、記念配当2円00銭であります。

### 3. 平成27年6月期の連結業績予想(平成26年7月1日～平成27年6月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	2,422	△4.4	360	1.4	310	4.7	180	38.5	47.47

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	27年6月期3Q	3,792,700 株	26年6月期	3,791,900 株
② 期末自己株式数	27年6月期3Q	78 株	26年6月期	78 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	27年6月期3Q	3,792,533 株	26年6月期3Q	3,251,355 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、作成日現在において入手可能な情報に基づいて算定しております。今後の経済状況等の変化により、実際の業績は異なる結果となる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項について、四半期決算短信(添付資料)4ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	5
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	5
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	5
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	5
(4) 追加情報	5
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	5
4. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	6
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報等)	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間末日現在において当社グループ（当社及び連結子会社）が判断したものであります。

当第3四半期連結累計期間における取り組みは、期首から継続しております既存事業の売上高向上と収益改善に注力してまいりました。建設系リサイクル事業については非建設系廃棄物の新規契約を含め、取引先の拡大と受入数量の安定確保に努めてまいりました。

また、連結子会社及び孫会社で事業開始に向けた準備を進めております森林発電事業は、孫会社である「一戸森林資源」の燃料製造施設の建築工事、破碎設備等の機械設置工事も予定通り完了し、事業化に向けた取り組みを計画通り推進しております。

売上高は1,915百万円（前年同期比2.7%増）となりました。売上原価は1,420百万円（前年同期比1.3%減）となり減価償却費及び維持管理費が前年同期比で低減しております。

販売費及び一般管理費は「一戸森林資源」での原木購入を前倒しで実施するとともに、個別での人件費及び委託手数料が増加したため、218百万円（前年同期比27.0%増）となりました。営業利益は276百万円（前年同期比9.2%増）、経常利益は228百万円（前年同期比13.3%増）、四半期純利益は122百万円（前年同期比2.1%増）となり、売上高、各利益ともに第3四半期として過去最高額となりました。

事業の種類別セグメントの業績は次の通りであります。

## ①建設系リサイクル事業

（単位：百万円）

	当第3四半期 連結累計期間	前第3四半期 連結累計期間	前年同期比	計画	計画比
売上高	1,618	1,518	100	1,482	136
売上原価	1,117	1,112	5	1,055	62
売上総利益	500	405	95	427	73

建設系リサイクル事業は、効率的な施設稼働に努めるとともに安定的な受入数量の確保に注力してまいりました。焼却・発電施設の受入数量は、昨年の消費増税の反動等により前年同期比2.2%減少しておりますが、受入平均単価が10%向上したため、受入売上高は前年同期比7.6%増加しております。廃プラスチック類等の受入売上も新規取引先の増加により、堅調に推移しております。

当第3四半期連結累計期間の売上高は1,618百万円（前年同期比6.6%増）、売上原価は外注委託費用が前年同期比で上回っておりますが、人件費、維持管理費等が低減したため、1,117百万円（前年同期比0.5%増）となりました。これらの結果、売上総利益は500百万円（前年同期比23.5%増）となりました。

## ②食品系リサイクル事業

(単位：百万円)

	当第3四半期 連結累計期間	前第3四半期 連結累計期間	前年同期比	計画	計画比
売上高	193	201	△7	198	△4
売上原価	196	186	9	171	24
売上総利益又は 売上総損失(△)	△2	15	△17	26	△28

食品系リサイクル事業は、液状化飼料の販売数量拡大に努めてまいりましたが、販売先の養豚場においてPED（全国的に感染が拡大している豚の流行性下痢）が発生したため、販売数量の増加が落ち着いております。第3四半期（平成27年1～3月）の販売数量は前年同期比40.8%増、第3四半期累計（平成26年7月～平成27年3月）で55.8%増と販売数量は堅調に推移しております。再資源化センターでの受入数量は、受入食品循環資源を飼料化原料に制限しているため、第3四半期累計で前年同期比13.2%減少しております。銚田ファームの売上高は販売単価の向上により、前年同期比で18.5%増加しております。

これらの結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は193百万円（前年同期比3.9%減）となりました。売上原価は液状化飼料の販売拡大により人件費、委託手数料が前年同期比及び計画比で増加したため、196百万円（前年同期比5.2%増）となり、売上総利益は2百万円の損失（前年同期は15百万円の利益）となりました。

## ③白蟻解体工事

(単位：百万円)

	当第3四半期 連結累計期間	前第3四半期 連結累計期間	前年同期比	計画	計画比
売上高	102	144	△41	121	△18
売上原価	106	140	△33	119	△12
売上総利益又は 売上総損失(△)	△3	4	△8	1	△5

白蟻解体工事は、前期の消費増税の影響等により白蟻工事、解体工事の受注件数が減少しております。また、新築白蟻工事の一部が取引先の仕様変更により第2四半期以降、大幅に減少しております。

これらの結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は102百万円（前年同期比28.9%減）、売上総利益は3百万円の損失（前年同期は4百万円の利益）となりました。

## ④森林発電事業

森林発電事業は、平成28年の営業開始に向けて建設工事を進めております。また、発電燃料として利用する原木の購入も開始し、現在、第3置場まで整備を行っております。

これらの結果、地代家賃、機械リース料等が発生しており、計画比10百万円増の22百万円を販売管理費で計上しております。

なお、当第3四半期連結累計期間において、販売実績は発生しておりません。

## (2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結累計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べて1,334百万円増加し、4,845百万円となりました。主な増減要因は次のとおりです。

流動資産については、社債の期限前償還により現預金が177百万円減少しておりますが、孫会社での燃料用木材の購入により69百万円をたな卸資産に、孫会社が交付決定通知を受領している補助金421百万円を未収計上したこと等により、前連結会計年度末に比べて356百万円増加し、1,692百万円となりました。

固定資産については減価償却により177百万円減少しておりますが、孫会社の燃料化施設の取得等により、前連結会計年度末に比べて978百万円増加し、3,153百万円となりました。

流動負債については1年以内償還予定の社債が98百万円減少した事等により、前連結会計年度末に比べて102百万円減少し、684百万円となりました。

固定負債については子会社及び孫会社の資産取得にともなう借入金等により、前連結会計年度末に比べて1,172百万円増加し、2,268百万円となりました。

純資産については、四半期純利益122百万円の計上、設備投資に対する少数株主からの200百万円の払込による収入等により、前連結会計年度末に比べて264百万円増加し、1,892百万円となりました。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想につきましては、食品系リサイクル事業及び白蟻解体工事において損失を計上しておりますが、建設リサイクル事業が受入平均単価の向上等により、計画を上回って推移しております。また、第4四半期以降、食品リサイクル事業では、新規受入契約も計画しております。建設リサイクル事業では、白井事業所のバイオマス発電施設の電力販売先変更により販売単価が向上するため、売電売上高及び利益が増加する見込みであります。さらに第3四半期末に実施しました借入金の借り換えにより、一時的な手数料を営業外費用に計上しておりますが、平成27年4月以降の支払利息が低減する見込みであります。

現時点におきまして前回公表数値に変更はありません。変動が見込まれる場合は、必要に応じて適時開示してまいります。

(単位：百万円)

	当第3四半期 連結累計期間	前第3四半期 連結累計期間	前年同期比	計画	計画比
売上高	1,915	1,864	50	1,801	113
売上原価	1,420	1,439	△18	1,357	62
売上総利益	494	424	69	443	50
販売管理費	218	171	46	174	43
営業利益	276	252	23	268	7

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

(4) 追加情報

(法人税率の変更等による影響)

「所得税法等の一部を改正する法律」(平成27年法律第9号)および「地方税法等の一部を改正する法律」(平成27年法律第2号)が平成27年3月31日に公布され、平成27年4月1日以後に開始する連結会計年度から法人税率等の引下げ等が行われることとなりました。これに伴い、繰延税金資産および繰延税金負債の計算に使用する法定実効税率は、従来の35.64%から平成27年7月1日に開始する連結会計年度に解消が見込まれる一時差異については33.06%に、平成28年7月1日に開始する連結会計年度以降に解消が見込まれる一時差異については32.30%となります。

この結果、当第3四半期連結累計期間において、繰延税金資産が1,864千円減少し、法人税等調整額が1,864千円増加しております。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

## 4. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年6月30日)	当第3四半期連結会計期間 (平成27年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	926,506	748,639
売掛金	305,962	298,590
たな卸資産	27,154	117,277
その他	78,152	528,029
貸倒引当金	△2,195	△133
流動資産合計	1,335,579	1,692,404
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	1,816,948	2,148,703
減価償却累計額	△796,825	△842,356
建物及び構築物(純額)	1,020,122	1,306,346
機械装置及び運搬具	2,521,731	2,676,517
減価償却累計額	△1,761,512	△1,793,375
機械装置及び運搬具(純額)	760,219	883,141
土地	231,995	231,995
建設仮勘定	6,587	556,092
その他	45,366	52,486
減価償却累計額	△36,574	△40,466
その他(純額)	8,792	12,019
有形固定資産合計	2,027,717	2,989,596
無形固定資産	11,398	8,092
投資その他の資産		
投資その他の資産	137,816	157,471
貸倒引当金	△1,543	△1,605
投資その他の資産合計	136,273	155,866
固定資産合計	2,175,388	3,153,554
資産合計	3,510,968	4,845,959



(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年6月30日)	当第3四半期連結会計期間 (平成27年3月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	170,915	164,645
短期借入金	179,920	25,000
1年内償還予定の社債	98,000	-
1年内返済予定の長期借入金	90,912	272,320
未払法人税等	50,588	41,342
賞与引当金	-	45,959
その他	196,560	135,512
流動負債合計	786,896	684,780
固定負債		
社債	553,000	-
長期借入金	401,020	2,143,071
その他	141,757	125,671
固定負債合計	1,095,777	2,268,742
負債合計	1,882,674	2,953,523
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	474,947	475,145
資本剰余金	595,427	595,625
利益剰余金	550,217	619,906
自己株式	△35	△35
株主資本合計	1,620,557	1,690,642
新株予約権	1,803	1,793
少数株主持分	5,932	200,000
純資産合計	1,628,293	1,892,435
負債純資産合計	3,510,968	4,845,959

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成25年7月1日 至平成26年3月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成26年7月1日 至平成27年3月31日)
売上高	1,864,056	1,915,009
売上原価	1,439,346	1,420,637
売上総利益	424,710	494,372
販売費及び一般管理費	171,799	218,155
営業利益	252,911	276,217
営業外収益		
受取利息	48	175
受取家賃	5,850	5,850
その他	2,202	3,793
営業外収益合計	8,100	9,818
営業外費用		
支払利息	20,906	21,539
支払手数料	10,480	32,346
社債発行費	17,901	-
その他	9,982	3,546
営業外費用合計	59,270	57,432
経常利益	201,741	228,602
特別利益		
固定資産売却益	4,403	3,708
国庫補助金	-	421,689
特別利益合計	4,403	425,398
特別損失		
固定資産売却損	42	5,236
固定資産除却損	1,690	13,297
固定資産圧縮損	-	421,689
特別損失合計	1,732	440,223
税金等調整前四半期純利益	204,411	213,777
法人税、住民税及び事業税	58,690	79,880
法人税等調整額	25,509	17,051
法人税等合計	84,200	96,931
少数株主損益調整前四半期純利益	120,211	116,845
少数株主損失(△)	△13	△5,932
四半期純利益	120,225	122,778

四半期連結包括利益計算書  
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成25年7月1日 至平成26年3月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成26年7月1日 至平成27年3月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	120,211	116,845
四半期包括利益	120,211	116,845
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	120,225	122,778
少数株主に係る四半期包括利益	△13	△5,932

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

前第3四半期連結累計期間(自 平成25年7月1日 至 平成26年3月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				合計	調整額 (注)	四半期連結 損益計算書 計上額
	建設系 リサイクル 事業	食品系 リサイクル 事業	白蟻解体 工事	森林発電 事業			
売上高							
外部顧客への売上高	1,518,041	201,695	144,320	—	1,864,056	—	1,864,056
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	1,518,041	201,695	144,320	—	1,864,056	—	1,864,056
セグメント利益又は 損失(△)	405,534	15,011	4,164	△40	424,670	△171,759	252,911

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額△171,759千円は、主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

当第3四半期連結累計期間(自 平成26年7月1日 至 平成27年3月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				合計	調整額 (注)	四半期連結 損益計算書 計上額
	建設系 リサイクル 事業	食品系 リサイクル 事業	白蟻解体 工事	森林発電 事業			
売上高							
外部顧客への売上高	1,618,587	193,820	102,601	—	1,915,009	—	1,915,009
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	1,618,587	193,820	102,601	—	1,915,009	—	1,915,009
セグメント利益又は 損失(△)	500,759	△2,486	△3,900	△22,448	471,924	△195,707	276,217

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額△195,707千円は、主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。